

“ お金といのち、どっちが大切？！ ”

高浜4号機起動（再々稼働）阻止！8.22高浜現地抗議行動

「原発うごかすな！実行委員会@関西・福井」は8月22日に福井県高浜町の高浜原発4号機ゲート前で、「高浜原発4号機起動（再々稼働）阻止！高浜現地抗議行動」を実施した。高浜原発先の展望台に参集した福井・関西はじめ、伊方・川内原発現地からの市民約60人は、高浜原発3.4号機ゲート前までの数百メートルを「高浜原発うごかすな！そのまま廃炉！」「危険なMOX燃料を使うな！使用済み核燃料プールを空にせよ！」とシュプレヒコールしながら、元気よくデモ行進した。

原発ゲート前では、若狭の原発を考える会の橋田秀美さんの司会で進行し、主催者を代表して、若狭の原発を考える会の木原壯林代表から、「一昨日高浜原発4号機で、放射能を含んだ蒸気漏れ事故を引き起こした関西電力は、本日の高浜原発4号機の起動（再々稼働）を延期した。原発は人類の手におえないものなのだ。もはや高浜4号機はそのまま廃炉にすべきだ」と挨拶。地元の東山さんによると、37度という、高浜町でもこの夏最高気温のもとで、怒りの発言が相次いだ。



＜山崎さん親子の発言と左が木原さん＞



＜原発ゲート前までのデモ行進も力強く＞

千葉県放射能ホットスポットから一家で避難されてきた滋賀県の山崎さん親子は、「原発は必要という人がいるが、『お金といのち、どっちが大切？』絶対に再稼働はしてほしくない。もう2度と事故を起こしてほしくない。故郷で暮らせることが当たり前であってほしい。家族がいっしょに暮らせることがあたりまえであってほしい。こどもがこどもらしくしてほしい」と訴え。

そのあと、木原さんを先頭に代表団が高浜原発所長に関西電力社長あての再々稼働中止を求める申し入れ書を提出。その後も炎天下、2時間以上の抗議行動を継続した。「美浜町をはじめ、反原発の議員が嶺南でたくさん増えた」と地元の町議から複数挨拶。伊方原発や川内原発現地でも反対闘争を展開する仲間からの訴え。関西各地で反原発を闘う仲間。反原発議員市民連盟関西ブロックからは二木さん、小山さんが挨拶。

午後3時、再びの怒りのシュプレヒコールで原発ゲート前での抗議行動をしめた。

高浜原発このまま廃炉！関電大阪本店包囲全国集会「原発うごかすな！実行委員会@関西・福井」主催

8月25日（土）15：00から大阪中ノ島関電本店前、16：45デモうつぼ公園発